



旭中通信

練馬区立旭丘中学校

学校通信 2月号

令和3年2月1日発行

数学に王道なし！

校長 渡邊 重幸



「^{きかがく}幾何学に^{おうどう}王道なし」ということわざを聞いたことがありますか。この句は、西洋の古いことわざのようです。紀元前300年ごろの、エジプトの王様（トレミー）は、空間の図形を研究する学問（幾何学）を学んでいたようですが、その学問を教えていた、ユークリッドという数学者に、「簡単に学ぶ方法はないのか」と訪ねたとき、ユークリッドが「幾何学に王道なし」と答えたことに由来しているようです。この句は、幾何学の勉強は、王様を通る特別な道はありません、という意味で、いずれかのことを知って知識を得るためには、基礎から一つずつ学び、積み重ねて努力していかなければならない。たとえ王様であっても、簡単に知識を得る方法などは「ない」という教えです。

本校では、1月9日から5日間、毎朝5問ずつ計算テストを行いました。そして18日には「めざせ！数学チャンピオン計算テスト」（20問）を実施しました。ポスターを作り、大々的に取り組んだ事業です。全校朝礼でも小学校の算数で大切なキーワード『は・か・せ・どん』に触れ、話しました。問題を解くときは「速い」「簡単」「正確」「どんな時でも（一般化）」で解ける方法を使えるようになることが大切なこと。その中でも、計算問題は「速く」、「正確に」解くことを心掛け、今回の計算テストに取り組むよう話しました。

今回の計算テストの結果が右記の表です。全校生徒の平均点が94.2点となりました。特に3年生の平均点は99.1点でした。さすが、受験が間近な3年生で、とても立派な結果でした。ケアレスミスで「1問間違え」の生徒も多く、惜しくも満点を逃してしまいました。次回はこの悔しさをばねに満点を取ってくれるでしょう。

	平均点	満点者の割合
第1学年	93.9点	63.6%
第2学年	89.6点	59.5%
第3学年	99.1点	83.7%
全校	94.2点	69.0%

(D組合む)

そして、「数学に王道なし！」です。満点をとるための近道はありません。何度も練習し、万全を期することが大切です。さらに、「見直し」や「確かめ」も大切です。次回も楽しみにしています。頑張ってください。保護者の皆様、応援ありがとうございました。



<令和3年度 新学習指導要領に向けて>

いよいよ、中学校は来年度、新学習指導要領に則って進めてまいります。本校では次年度をふまえ、5教科(国語、社会、数学、理科、英語)において、「新学習指導要領に向けて、指導力を向上させる」を研究主題として研究授業を行ってきました。各教科お一人ずつ講師を招聘し、ご指導いただきました。

また、全体研修として東京女子体育大学 教授 田中洋一先生(平成20年告示学習指導要領中学校国語作成協力者、21世紀国語教育研究会会長などを歴任)にお越しいただき、「新学習指導要領における学習評価」について講演いただきました。

次年度改めて、新学習指導要領や評価について説明させていただきますが、概要のみお知らせします。

(1) 学習指導要領改訂の基本方針

- ◎「社会に開かれた教育課程」の実現
- ◎育成を目指す三つの資質・能力の明確化
- ◎「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ◎カリキュラム・マネジメントの確立

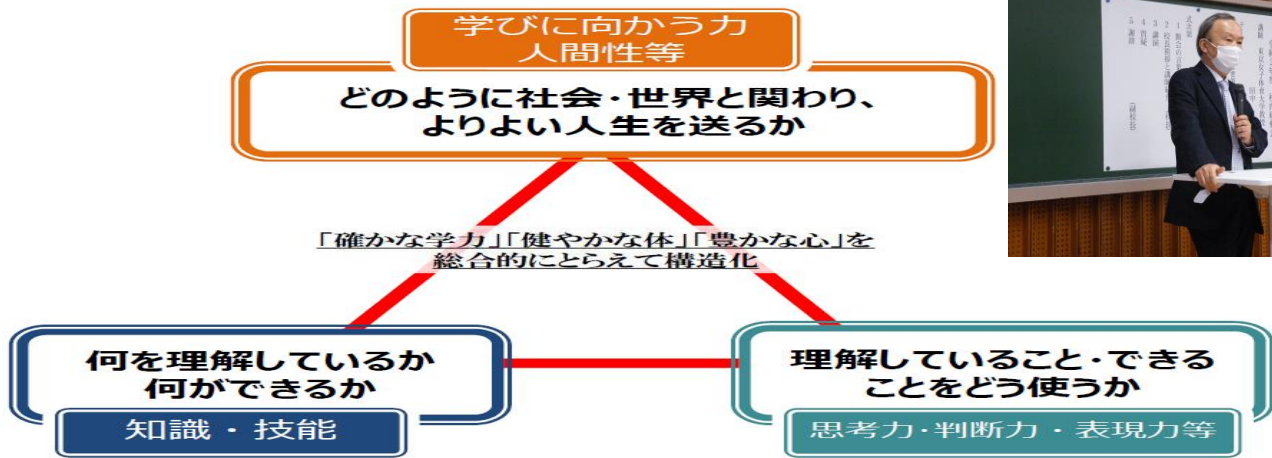
子供たちや学校、地域の実態を適切に把握したうえで教育課程を編成していきます。

(2) 参照

「指導と評価の一体化」が重要

教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていきます。(PDCAサイクルの確立)

(2) 育成すべき資質・能力の三つの柱



(3) 学習評価の基本的な枠組みと改善の方向性

資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理。

観点別学習状況の評価が4観点から3観点になります。(例) A・B・A⇒評定「4」

<現行>

<新>

